

蕨 広報WARABI 11

2011/平成23年
わらび・723

- 平成23年11月1日発行／発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 10月1日現在人口：72,654人 前月比 -19人
男 37,029人 女 35,625人
世帯数：36,127
人口密度：14,245人/km²



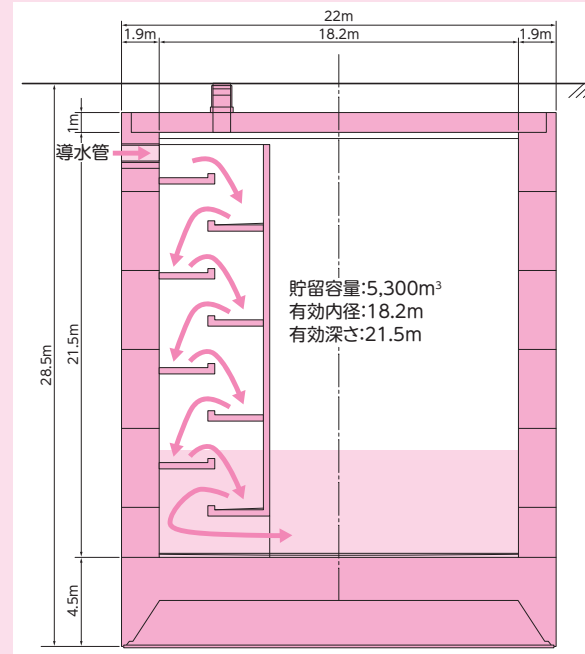
手から伝わるお母さんの愛情 親子のきずな育むマッサージ

交流プラザさくらでは、親子のきずなを育んでもらおうと、10月にベビーマッサージ講座を開催。ママが赤ちゃんの肌に優しく触れながら行うマッサージは、免疫力を高めるだけでなく、親子のスキンシップを深めます。ママと赤ちゃんの笑顔広がるひとときでした。

——— 目 次 ———

- 特集：下水道事業……………2
- 特集：蕨サンクチュアリ…6
- レポートそこが知りたい…8
- 蕨いま むかし……………8
- 親と子のニュースの小窓…10
- 子どもクラブ……………11
- 輝いていま ひと……………12
- 中山道まち歩き……………12

平成25年度完成予定の雨水調整池の平面図・断面図



雨水が流れる経路に段差を設け、落下時の衝撃を緩和する方式を採用

工事のスケジュール

平成23年度	24年度	25年度	26年度
わらび公園閉鎖期間(H23.6.1～H26.3.31)			
	北町一丁目雨水調整池築造工事 10月～1月 16か月	ポンプ・設備工事 管路施設工事 公園整備工事	●わらび公園 リニューアル オープン

と、降った雨を一時的にためておくことができる雨水調整池を、最も浸水被害の多い、北町地区のわらび公園地下に設置する工事を始めました。

プール約16杯分の貯留量

この工事は、内径18・2メートル、深さ21・5メートルという非常に大きな鉄筋コンクリート製の円筒状の施設を、わらび公園地下に設置して、雨水調整池とするものです。5300立方メートル、小学校のプールで約16杯分の雨水をためておくことができ、ゲリラ豪雨などによる浸水被害の軽減が図れるものと考えています。

現在、公園施設の撤去工事

を終え、先月から設置工事を始めたところです。工事の進め方は、円筒状の躯体を、あらかじめ地上で造り、特殊な機械で掘りながら地中に沈めていく、ニューマチックケーソンという工法で進めていきます。調整池を地中に埋めることで、蔵市のように、建設用地の確保が難しいまちでも、雨水の貯留量が確保できます。工事期間は平成25年度までの3年計画で、総工事費は約9億円程度の見込みですが、国の交付金などを活用して財源を確保していきます。また、撤去した公園部分については、昨年度、3回にわたり地域の皆さんからお聞きしたご意見を反映させた、基本計画を基に設計を行い、26年度に新たな公園として開園する予定です。市では、この雨水調整池の効果を検証しながら、より安全で安心なまちづくりを目指し、更なる浸水対策を検討していきますと考えています。

続いて4・5ページでは、こうした雨水や各家庭から排水される汚水がどのような方法で流れているのかといった、市の下水道のしくみについてお話ししていきたいと思います。

60年以上蔵に住んでいますが、昔は、ゲリラ豪雨のような雨は少なかったです。また、都市化により、田んぼなどがなくなり、雨の多くがそのまま下水に流れていることも、浸水の原因の1つでは。こうした気象やまちの変化への対応が今後更に必要になるのではないのでしょうか。



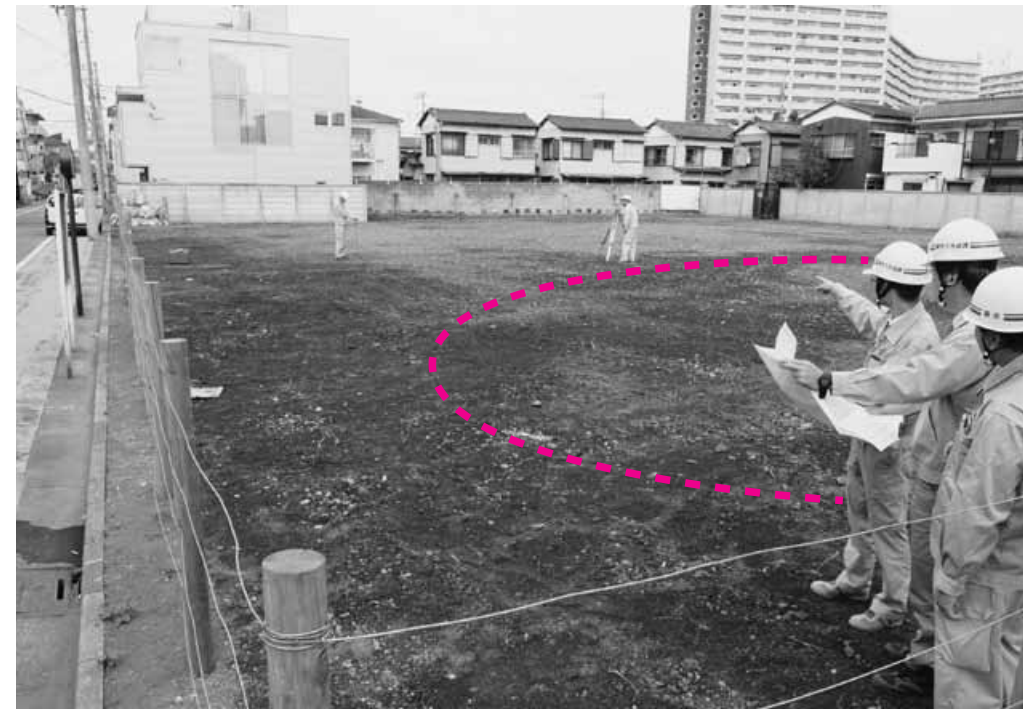
ますだ まさかず
増田 正和さん
南町1丁目・69歳

近所には、集中豪雨で浸水の被害に遭われたかたがいますので、こうした被害を軽減するための調整池が出来ると聞き、皆さんが安心して生活するための重要な施設だと思っています。完成後は新たに公園が出来るとあるので、家族で集える公園にしてほしいですね。



おくの き なみえ
奥ノ木 奈美江さん
北町1丁目・40歳

市民の声



公園施設の撤去を終え、約582坪の敷地は更地に（10月20日撮影）



地下にあって目立たない存在の下水道。でも、快適に暮らすためのたいせつなライフラインです。市では、皆さんに、より安心で安全に生活していただこうと、集中豪雨などによる浸水被害の軽減を目指して、わらび公園地下に雨水調整池を設置する工事を始めています。そこで、2・3ページでは、工事の概要について、4・5ページでは、下水道のしくみについてご紹介します。

浸水被害軽減図る調整池

台風が近づいているときや、大気が不安定で雷雲が発生するときなど、短時間のうちに激しい雨が降る、集中豪雨。特に近年、ゲリラ豪雨と呼ばれる、予測が困難で突発的、局地的な豪雨による浸水被害が都市部を中心にみられています。この原因は、蔵市を含めた都市部の下水管の多くが、1時間に50ミリまでの雨量に対応できる設計なのに対し、ゲリラ豪雨では、短時間にそれを大きく上回る雨が降ることで、雨水が下水管からあふれ出し浸水被害をもたらします。実際に、今年の8月26日には、1時間に79・5ミリの大雨を記録し、道路の冠水や床上・床下浸水などの被害が出ました。こうした浸水被害を解消する方法の1つに、雨水を放流

している緑川の拡幅が挙げられますが、管轄する埼玉県にその計画はあるものの、現在中断されており、実現はかなり難しい状況です。このようななか、市としては、家の建て替えの際に、雨水が地下に浸透する樹の設置をお願いしたり、道路の舗装を透水性の高いものにしたといった、長期的で地道な対策をとってきました。また、毎年の市民意識調査では、施策の重要度をお聞きする項目で、下水道の整備・雨水対策が上位に位置づけられるなど、浸水対策は市民の皆さんの関心が高い事業となっています。そこで市では、集中豪雨などによる被害の軽減を図ろう



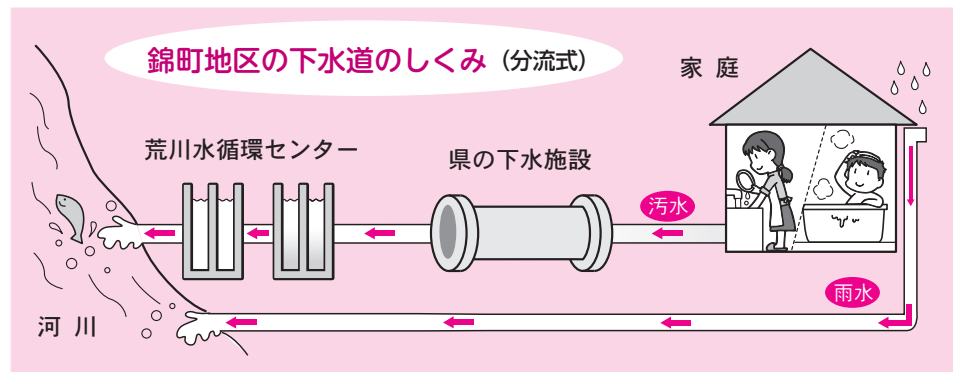
ゲリラ豪雨で道路が冠水（8月26日・南町）

特集：下水道事業①

北町1丁目わらび公園地下 雨水調整池設置工事始まる



31%と広大な敷地で下水を処理する荒川水循環センター（戸田市笹目）



と雨水が1つの下水管で流れています。合流式の地区から排水された汚水と雨水は、同じ管を通り南町ポンプ場のせきで分けられ、雨水は緑川へ、汚水は荒川水循環センター（左写真）へ送られます。汚水は、その後、同センターで微生物による自然浄化など、環境に配慮したさまざまな処理を行い、きれいな水にして荒川へ放流しています。

錦町地区は「分流式」採用

これに対し、分流式は、汚水と雨水を別々の管で流す方式です。そのため、集中豪雨

など下水道の流下能力を超える雨量の際も、汚水があふれ出ることはなく、環境面で安心な方式といえます。左図のように、汚水は県が管理する下水管を流れ、荒川水循環センターへ、雨水は上戸田川に放流するというのが錦町地区の主な下水道のしくみです。

錦町の下水道汚水事業は、昭和62年に事業認可を受け、皆さんの生活に直結する汚水管の整備に着手し、現在65・5%の普及率となっています。一方、雨水管の整備は、平成16年度に事業認可を受け、18年度から、大日本印刷東側の都市計画道路「元蔵法ヶ田線」を主要幹線とする1号幹線をはじめとした幹線を主体に整備を始めており、22年度末で総延長1560メートルのうち、約630メートルが完了、約40%の進捗率となっています。

なお、錦町地区の主な雨水は、富士見公園野球場地下に計画されている雨水調整池に集水され、浸水被害の軽減を図ろうとするものですが、現在整備中の雨水管も貯留管として機能しており、22年度末で約3500立方メートルの雨水をためることができるよう、浸水被害の軽減が図れています。

普及率は県内上位5番目

このように、下水道整備を着実に進め、平成22年度末現在、人口に占める下水処理が可能人口を示す「下水道普及率」は95・1%（県平均76・7%）で、県内で5番目に高い

下水道使用時の注意点

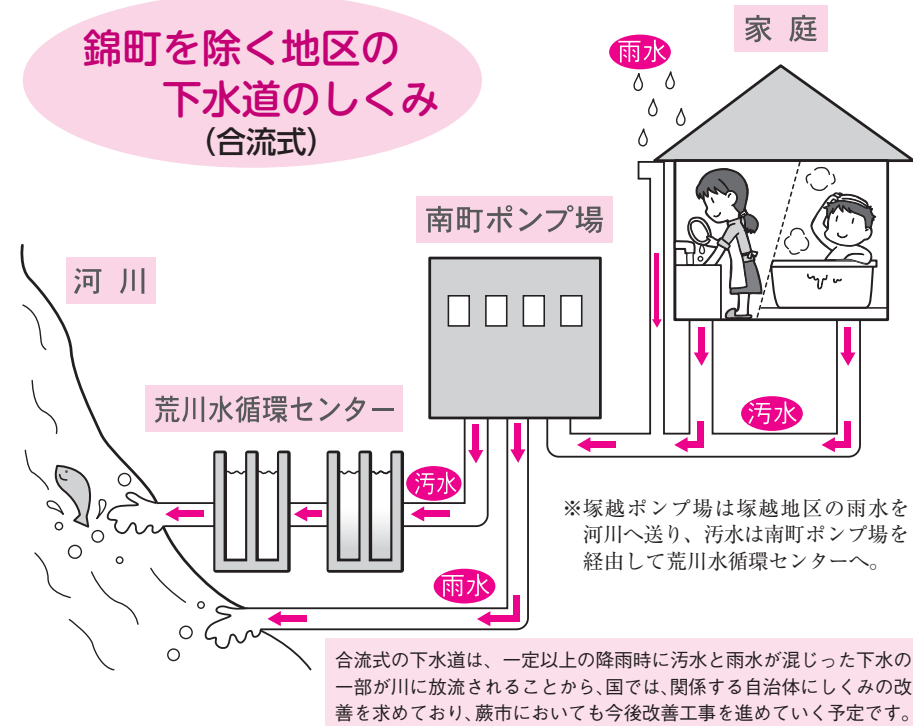


排水設備の問い合わせ 下水道課（☎433・7724）

水準となっています。市では、まだ整備を終えていない錦町を中心に、土地区画整理事業の進捗に合わせて工事を進めていきます。しかし、整備には多くの費用と時間がかかります。今後、計画的に着手に解とご協力をお願いします。

下水道は、市民の皆さんの財産です。野菜くずや髪の毛、特に油などを下水管に流すと、きれいな水に戻すために多額の費用がかかります。各ご家庭で、排水口に網を付けるなどの工夫をしていただき、引き続き、下水道を正しくお使いいただきますよう、ご協力をお願いします。

錦町を除く地区の下水道のしくみ（合流式）



特集：下水道事業②

暮らしを支える 下水道のしくみ

私たちの家庭から排水された汚水や雨水は、どのような経路・方式で流れているのでしょうか。4・5ページでは、縁の下の力持ち、下水道事業の概要をご紹介します。

水洗化は昭和52年に開始

蔵市の下水道事業は、全体計画510号で、国道17号より東側392号と西側の錦町地区118号に大別されます。これは、錦町を除く全域は合流式、錦町は分流式と、処理の方法が異なるからです。下水道事業は昭和44年に国の事業認可を受け、47年に県南6市（上尾市、さいたま市、川口市、蔵市、戸田市、旧鳩ヶ谷市）の下水を処理する、荒川水循環センターが戸田市に完成したことを受けて、南町ポンプ場（右下写真）の建設を始めました。そして、52年にポンプ場が完成したこと、周辺地域の約4000世帯が下水道を使えるようになり、水洗化が始まりました。

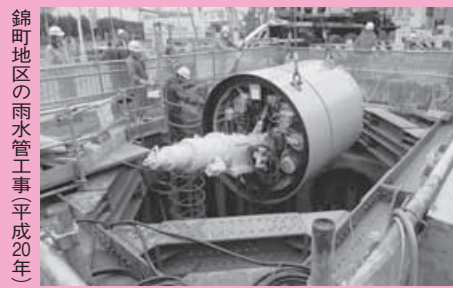
整備が完了した「合流式」

こうして蔵市のように、比較的早い段階で下水道事業に着手した多くの自治体は、浸水対策と水洗化が同時に行える合流式を採用しています。合流式の地区は、既に整備を終え、上図のとおり、汚水



直径約1メートルの4本の管で雨水を放流（南町ポンプ場）

写真で見る 下水道の歴史



献身的な介護で 取り戻した笑顔



▶ 楽しい入浴。湯ぶねにたかると、自然と表情が和みます



▶ 自力で食事ができない入所者に「ゆっくり食べてね」と介助



▶ 入浴後、ブラッシングで髪の毛をとかしてくれるボランティアのかたと談笑のひととき。心も体も気分爽快です

▶ 4交代制で働く職員たち。排泄交換やベッドからの移動の補助、洗濯に至るまで、息つく暇がありません



▶ 以前はこんな夜も…

▲ 満面の笑みを浮かべる小山イトさん（写真右）

あなたの笑顔は 私たちの宝もの…



レンズを通して見た蔵サンクチュアリ。そこには、職員たちのさまざまな表情がありました。

排泄交換のときにみせる、思いやりに満ちたまなざし。

入浴介助のとき、いっしょに口ずさむ楽しそうな歌声。

徘徊する入所者をなだめる母親のような優しさ。

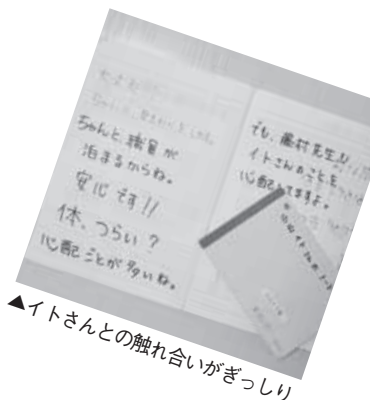
どの表情からも伝わってくるのは、80人のかげがえのない命を支える、あふれんばかりの愛情です。

そんな、蔵サンクチュアリでよく耳にするのは、「ありがとう」という言葉です。

イトさんが蔵サンクチュアリにいらしたのは半年前のことですね。お会いした頃は、表情が硬く、その瞳はどこか寂しげでした。なぜなら、離れて暮らす家族のことが心配だったから。米寿を過ぎた小さな体で大きな不安を抱えていました。そう、とっても気持ちの優しい人だから…。

耳が不自由なイトさん。会話で交流するのは苦手ですね。なんとか心の扉を開こうと、私たちが考え出したのは筆談ノート。日々のたわいもないやり取りを重ねるうちに、満面の笑みを見せてくれるようになりました。そしていつからか、筆談から「笑顔」の会話に。その愛くるしいほほえみは、施設のみんなに広がり、私たちの心も和ませてくれます。

イトさん、もし、これから心配なことがあってもだいじょうぶですよ。いつだってそばに私たちがいますから。



▲イトさんとの触れ合いがぎっしり



▲入所者への献身的な介護に終わりはありません



▲好物の水まんじゅうを前に、仲間と交流を深めます



▲愛情のこもった筆談がイトさんの心を動かしました



情報ダイヤル

掲載は無料です

図秘書広報課 (☎433・7703)

〔譲ってください・無料〕

▶男の子用自転車(22インチ) 取りに伺います<植木・☎090・4662・6096>

〔仲間になりませんか〕

▶わらびハーモニカクラブ 水曜日 午後1時 西公民館 入会金500円 月2,000円<重田・☎433・7375>

▶南園基クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料<井上・☎442・0259>

▶実用書道クラブ 第1・3火曜日 午後1時 下蔵公民館 月2,000円(教材費別)<高橋・☎432・3280>

▶楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蔵駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4,500円<浦島・☎224・5915>

▶ABCクラブ(幼児英会話) 第2・4木曜日 午後4時半 南公民館 月1,500円 年中・年長児<新田・☎090・9969・2451>

▶カラオケ愛好会 火曜日 午後4時 中央公民館 月500円<菅谷・☎432・4966>

▶土曜ダンス教室 第1・3土曜日 午後1時半 中央公民館 月2,000円 初心者歓迎<戸田・☎444・3337>

▶蔵現代史を学ぶ会(近現代史) 第1月曜日 午前10時 旭町公民館 年3,000円<畠田・☎447・0103>

▶蔵インドアテニスクラブ(硬式テニス) 水曜日 午前9時 市民体育館 月3,500円 経験者希望 コーチ指導あり<菊地・☎443・6611>

▶英書を読む会 金曜日 午後1時半 中央公民館 月500円<高橋・☎432・4498>

〔参加しませんか〕

▶くるるダンスパーティ 5日・12日・23日 午後1時 文化ホールくるる 499円<犬塚・☎441・7373>

▶イキイキ健康講座「病気になるための食生活とは」 27日 午前10時 市民会館 300円<平田・☎444・2222>

〔ご相談ください〕

▶蔵断酒会(酒害相談) 1日=中央公民館 9日=南公民館 17日=旭町公民館 午後6時半<岡田・☎441・3172>

〔参加しませんか〕

▶くるるダンスパーティ 5日・12日・23日 午後1時 文化ホールくるる 499円<犬塚・☎441・7373>

▶イキイキ健康講座「病気になるための食生活とは」 27日 午前10時 市民会館 300円<平田・☎444・2222>

〔ご相談ください〕

▶蔵断酒会(酒害相談) 1日=中央公民館 9日=南公民館 17日=旭町公民館 午後6時半<岡田・☎441・3172>

〔ご相談ください〕

▶蔵断酒会(酒害相談) 1日=中央公民館 9日=南公民館 17日=旭町公民館 午後6時半<岡田・☎441・3172>

〔ご相談ください〕

▶蔵断酒会(酒害相談) 1日=中央公民館 9日=南公民館 17日=旭町公民館 午後6時半<岡田・☎441・3172>

〔ご相談ください〕

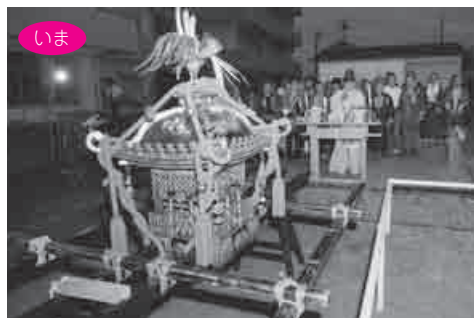
▶蔵断酒会(酒害相談) 1日=中央公民館 9日=南公民館 17日=旭町公民館 午後6時半<岡田・☎441・3172>

〔ご相談ください〕

▶蔵断酒会(酒害相談) 1日=中央公民館 9日=南公民館 17日=旭町公民館 午後6時半<岡田・☎441・3172>

〔ご相談ください〕

▶蔵断酒会(酒害相談) 1日=中央公民館 9日=南公民館 17日=旭町公民館 午後6時半<岡田・☎441・3172>



いま

まちの話題

総合的な学習の時間で蔵の伝統と文化について学んでいる中央小学校5年生58人が、10月4日、西公民館でわらびりんごの取材をしました。わらびりんごの会の皆さんからリンゴの特徴や増やし方などを教わった後、ファームを見学。日本一の極早生種に興味津々でした。

わらびりんごを訪ねて



駅前通りに新名所開店



(社)蔵市にぎわいまちづくり連合会が事業主体の、ワンデイシェフレストランぷらっと竣工記念式典が、10月17日に開催されました。翌18日に開店した同店では、午前11時から午後2時までのランチで、日本そばや和・洋食など、シェフ自慢の逸品が日替わりで味わえます。

地産地消の催しが盛況



10月21日・22日、和楽備神社で「第36回園芸祭」が開かれました。会場には市内農家の皆さんが丹精こめて作ったダイコンや長ネギなど50品目がめじろ押し。開会前から行列ができるなど延べ400人が訪れ、生産者との会話を楽しみながら産直野菜を買い求めています。

塚小まつりで復興支援



10月22日、塚越小学校で「塚小まつり」が開かれ、1000人が参加しました。被災地支援を目的に、宮城県石巻市から当日直送された新鮮なホタテやサザエなどの販売が大盛況。他にも、模擬店や遊びのコーナー、大漁旗に応援メッセージを書くなど、お祭りを満喫しました。

市民と職員で人命救助



10月19日、市役所を訪れた男性が突然、心臓停止状態に。異変に気づいた遠藤恵さん(写真中央)が周囲にAEDの準備を指示。市職員5人と連携し実施した結果、一命を取り留めました。救助に当たった皆さんには26日、感謝状が贈られました。ありがとうございました。

この意味だそう、19歳で担ぎ手となった私も真っ白く塗られましたね。今の写真は、先月15日、宵宮で的一幕。合祀100周年の今年は、かつて下の宮の社殿があった所(現・中央小学校)に、みこしを据えて100年ぶりに神様を里帰りさせました。



むかし

各自で防犯意識の向上を

レポート そこが知りたい

〔77〕



地域ぐるみの防犯パトロール

市内の各地域では、町会などを中心に、まちの安全や安心のため、市や警察と連携して防犯パトロールを実施しています。そこで、今月のレポートでは、地域全体で防犯に取り組んでいる、皆さんの活動についてご紹介します。

パトロールを開始。その動きが広がり、現在は全町会が活動を行っています。

また、昨年から民間警備会社に委託し、青色回転灯積載車による夜間特別防犯パトロールを実施するなど、地域の皆さんと連携しながら防犯活動に取り組んでいます。

活動が犯罪減に貢献 防犯パトロールをはじめとした、地域の皆さん



暗闇に目を光らせる中央4丁目御殿町会の皆さん

防犯パトロールをはじめとした、地域の皆さん

の地道な活動の成果は、数字として明確に表れています。平成15年のピーク時に3046件あった市内の刑法犯認知件数は、22年には1805件となり、4割以上減少しています。23年は9月末時点で1124件と、昨年同時期と比べ223件減少し、更なる改善が見られます。市内での犯罪の約3割を占める自転車盗も大幅減(15年951件、22

年654件)となっており、市内での犯罪は着実に少なくなっています。また、震災直後は毎日パトロールを実施し、被害状況の調査を重ねた町会もあるなど、その貢献度は計り知れません。

ひたたくりに警戒を

このように犯罪は減少していますが、ゼロになつたわけではありません。例えば、最近、増加傾向にあるのがひたたくりです。警察と連携し、犯罪発生地点の重点パトロールなどを行っています。被害防止には一人一人の注意が必要です。夜は明るい道を歩く、自転車のかごに防犯ネットやカバーを装着するなど、細心の注意を心がけてください。

力合わせて防犯対策

このような課題を解消し、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めるためには、市民の皆さんと市や警察が協力し、こうした活動の輪を広げていくことが不可欠です。皆さんも「地域のための活動」にぜひご参加ください。



語る人

栗原良夫さん

錦町1丁目・63歳

明治44年の合祀によって和楽備神社が出来るまで、須賀町には蔵宿三鎮守の1つ、下の宮と地域の守り神、須賀社の2つの社がありました。

昔の写真は昭和24年頃でしょうか。須賀社(中央5・20)前で撮った秋祭りの様子です。前列左から4人目に私の父がいます。法被に美津若とありますが、当時は須賀町と土橋と下蔵の三町会が連合でみこしを担いでいたようです。みこしは神様の乗り物ですが、須賀町のみこしは蔵の中でも特に立派と評判の「三社のみこし」の1つでした。参加者が化粧しているのは、少しでも神様に近づこう

須賀町のみこし



先月、市役所1階市民課のロビーで、来庁された市民のかたが突然倒れこむ出来事がありました。心肺停止というたいへん危険な状態でしたが、その場に居合わせた市民のかたが市職員とともに、市役所に設置してあるAEDを使って迅速な救命措置を行った結果、一命を取り留めることができました。

蕨市内の公共施設には市役所や公民館、学校など、AEDは、音声案内に従えば誰でも使えるものですが、いざというときは、尻込みしてしまうものです。今回、救命措置をしてくれたかたは、AEDの知識をお持ちでしたが、それでも、一瞬はちゅうちよしたそうです。それを乗り越えての勇気ある行動によって、人の命が救われたのです。蕨市では、消防署において、AEDの使い方も含めて救命講習会を毎週水曜日に開催しています。今後とも、AEDの普及・啓発に取り組んでいきたいと思っています。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。ただし、今月は10日。12月は1日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へ

ほっと・エッセイ 45

AEDによる
人命救助に感謝

市長 頼高 英雄

ど37か所に46台のAEDを設置しています。また、銀座商店街、民間事業所など、多くの人が出入りする場所にも設置されています。

AEDは、音声案内に従えば誰でも使えるものですが、いざというときは、尻込みしてしまうものです。今回、救命措置をしてくれたかたは、AEDの知識をお持ちでしたが、それでも、一瞬はちゅうちよしたそうです。それを乗り越えての勇気ある行動によって、人の命が救われたのです。

蕨市では、消防署において、AEDの使い方も含めて救命講習会を毎週水曜日に開催しています。今後とも、AEDの普及・啓発に取り組んでいきたいと思っています。



地域の魅力知るまち探検

子どもクラブ

東小学校

東小学校の2年生41人が取り組んでいる「まちたんけんしよう」は、地域の人と触れ合いながら、自分たちのまちについて学ぶ、生活科の学習です。10月18日には、保護者の引率の下、3、4人の班に分かれ、和菓子屋や魚屋など、地域のお店を訪ねました。子どもたちは、お店の裏話や、厨房の見学などに興味津々。「こんなお店があったんだね」「みんなに教えなきゃ」と、興奮しながら学校に戻りました。調査の結果は新聞にまとめて校内に掲示予定。友達や家族とお勧めのお店に行くのが楽しみです。

わが家のアイドル

—475—



りこちゃん
(4歳4か月)
優衣ちゃん
(1歳5か月)
きくち けんさん
菊地 陽子さんの
長女・二女
南町1丁目

「姉の璃子(上)は、妹の優衣(下)が生まれる前、私のおなかをなでながら、『早く遊びたいね』と、語りかけていました。その思いが伝わったのか、2人は『ゆいちゃん』、『りいたん』と呼び合う仲よし姉妹です。そんな2人

は、私が家事をしていると、そばにきて、ぎゅっと抱きしめてくれます。その瞬間、家事や育児の疲れが一気に吹き飛びます。璃子と優衣は我が家の宝物。いっしょに過ごせる時間を大事にしたいですね」と、母親の陽子さん。

防災一口メモ



放射線対策拡充します

市民の皆さんの放射線への不安を解消するため、次のように市独自の対策を拡充しています。

●給食用食材の放射性物質を毎日測定／今月上旬から、学校給食センターで、食材6品目と完成したメニューについて、毎日検査を実施します。なお、測定結果と産地は市ホームページで随時公表します。●空間放射線の詳細測定／これまでも学校や保育園、公園などの定点観測を行い、公表してきましたが、新たに放射線量が高いと想定される場所の測定を、先月下旬に実施しました。結果については市ホームページで公表します。問い合わせ＝安全安心推進課（☎433・7755）

みんなで協力して 住みよい地域へ 町会活動にご参加を

いざというとき頼りになるのがご近所の皆さんです。町会では地域をよくしようと防災や防犯、親睦行事などさまざまな活動を行っています。東日本大震災以降、注目されている地域のきずな。皆さんもできることから参加しませんか。

親と子の ニュースの 小窓



安全で快適なまちづくりを担う町会

町会長 こんにちは。回覧板です。ワラビ ありがとうございます。今月はどんなイベントがあるのかな。町会長 ワラビちゃんはいつも積極的に参加してくれてうれしいよ。ワラビ だって、楽しい行事がいっぱいなんだもん。夏は盆踊りでしょ、秋は運動会、それから。お母さん 公共施設巡りの勉強会も、ためになりました。町会長 町会は地域で協力し合い、住みよいまち

にしようとして活動していますから。それにはお互いの親睦を深めないといね。ワラビ なるほど。他にはどんな活動があるの。町会長 ごみ集積所の管理や公園などの清掃、交通安全や防犯のパトロールなどをみんなで協力して取り組んでいるんだよ。お母さん 市内の犯罪発生件数が今年上半年、大幅に減ったのはそうした活動の成果とも言えるわ(詳細は8ページ参照)。ワラビ 町会の力ってすごいんだね。

今だからこそ深めたい地域のきずな

お母さん 東日本大震災のときも大きな揺れで怖かったけど、近所で声を掛け合ってた心強かったです。町会長 そうですね。震災では、人と人とのつながりのたいせつさを感じた人も多いと思います。町会では自主防災組織を作って、防災訓練の実施やお年寄りなど要援護者の把握に努めるなど、万

一に備えています。ワラビ それなら安心。町会長 でも、いくら準備をしていても、隣近所の顔が見えないと、いざというときの対応に不安があります。お母さん 町会加入率低下の問題ですね。ワラビ えっ、同じ地域に住んでいれば、みんな町会の人じゃないの？



防災訓練で災害に強い地域へ(写真は南町地区合同)

お母さん 町会に加入する・しないは自由なのよ。留守がちな単身世帯や地域のことがよく分からない転入世帯に未加入者が増えているみたい。町会長 はい。5年前は全37町会の平均加入率が69.5%だったのに対し、現在は66.7%です。加えて、中心となって活動している皆さんが高齢になりつつあるのが実情です。

お母さん せっかく同じ地域に住んでいるんだから、協力して住みよいまちにしていきたいですね。町会長 はい。特に若い人たちの感性を町会活動に生かしてほしいです。ワラビ よし、僕もできることから始めよう。

町会についての問い合わせ＝安全安心推進課（☎433・7755）



華道の枠を超え交流深めたい

輝いていまひと

蔵市華道連盟会長

こ ばやし ゆう か
小林 幽霞 さん

市

役所1階市民活動
推進室のカウンタ

1にある生け花。毎週更新され、季節を先取りした作品が来庁者の目を楽しませてくれます。生けているのは華道連盟27人の皆さん。会長の小林幽霞さん（72歳・塚越1丁目）が「訪れた人のほっとする空間になれば」と、会長になった10年前に発案したボランティア活動です。19歳のとき、嫁入り前のたしなみとして華道を始めた小林さんの芸歴は50年以上。創作活動では、心静かに、花材1本1本の

を丁寧生けていきます。「生け方は頭で考えるのではなく植物が教えてくれるんです」と小林さん。その境地にたどり着くまでには、いくら生けても納得いかず、イメージすら湧かないときもあつたそうです。それでも努力を続け、昭和53年に草月流の理事となり、本部講師をしていました。現在は自宅などの教室でお花の楽しさを伝えています。また、平成17年度から5年間、文化庁委託事業で、子ども生け花教室を公民館で開催したほか、今年の旭町地区生涯学習フェスティバルでも体験講座を開くなど、地域に華道の裾野を広げています。「子どもたちの純粹で自由な発想は新鮮でした」と話す小林さんには、次の目標があります。フラワーアレンジメントや山野草など他分野との交流です。「ジャンルは違っても、学び合う部分が多いのでは」と瞳を輝かせます。近い将来、華道の枠を超えたコラボレーション作品が披露目される日が来るかもしれません。

中山道まち歩き

No.7

錦町3丁目交差点付近

Check!



北町2丁目
かわさぎ まき
川杉 麻貴さん

6月に蔵に越してきたばかりです。瓦屋根や格子などを取り入れた建物が並ぶ中山道は、歴史的な雰囲気があっていいですね。今度、ゆっくり散歩したいです。

蔵

の歴史と文化を
育んできた中山

道。市内を通る約2キロの間には、現在も江戸後期から昭和初期の建物が点在しています。

今回は、中山道と国道17号の交差点から錦町3丁目方面を描いた絵です。絵の左の建物は、大正時代に建てられたのではないかといわれています。その奥にある建物は、昭和初期に建てられた芳野家。江戸後期から油奥屋の屋号で食用油を扱っていて、ダイズやナタネなどを搾ると香りが遠方まで漂ったそうです。芳野家の奥の建物は、大正初期に建てられた

村松家です。

鍵屋の屋号で明治時代から米屋を営んでいた村松家では、たいせつに保管している礼状があります。差出人は大韓帝国の皇太子で日韓併合後、王世子となった李垠からです。大正8年、軍隊演習で訪れた李垠は村松家に宿泊しました。礼状は、その感謝の意を表した内容になっています。

写真は現在の様子。芳野家手前の一方通行の道路は、かつて早瀬道と呼ばれ、中山道が出来る前からありました。しかし、曲がり道が多く不便だったため、蔵宿の開設に伴い、今のような道が整備されたといわれています。



駐車している車の手前が早瀬道です



とうま げんいちろう
絵／當摩 源一郎さん